

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成 23 年 5 月 19 日 (2011.5.19)

【公表番号】特表 2010-524814 (P2010-524814A)

【公表日】平成 22 年 7 月 22 日 (2010.7.22)

【年通号数】公開・登録公報 2010-029

【出願番号】特願 2010-503374 (P2010-503374)

【国際特許分類】

C 0 1 B 7/07 (2006.01)

C 0 1 B 7/04 (2006.01)

B 0 1 J 20/08 (2006.01)

【F I】

C 0 1 B 7/07 B

C 0 1 B 7/04 A

B 0 1 J 20/08 A

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 3 月 24 日 (2011.3.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

本明細書において用いられる、吸着工程 B) のための吸着剤は、一般に、ゼオライト、酸化アルミニウム（特に有機金属錯体としても）、 SiO_2 （特にシリカゲルの形態）、ケイ酸アルミニウム（特にベントナイトの形態）、および他の金属酸化物である。 - 酸化アルミニウムが好ましい。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 8】

ガストリームからの金属成分の吸着的除去の利点は、非常に高度に精製された HCl が、特に酸素消費カソードによる HCl 電気分解に用いるのに適していること、更なる後処理をすることなく化学合成のための触媒および中和剤として用いるのに適していることである。例えば、酸素消費カソードによる HCl 電気分解において、4 価のカチオン（例えばスズまたはチタン化合物）は特に、セル電圧を増加させ、このようにして、望ましくない方法で電気分解セルの寿命を短くする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 2】

特に触媒存在下における、塩化水素と酸素とから塩素を製造する方法（ディーコン法）であって、酸化の後に得られる未反応塩化水素を含有する生成物ガストリームの一部を、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の方法によって精製に付すことを特徴とする方法。